

国家公務員を目指すあなたへ！
～九州・沖縄 労働局からのお知らせ～

2017

都道府県労働局は、ハローワーク（公共職業安定所）や労働基準監督署を組織に持つ、厚生労働省の機関です。

国家公務員を目指す皆さん！都道府県労働局で働いてみませんか！



九州・沖縄ブロック都道府県労働局



ひと、暮らし、みらいのために

□ リーフレット 目次 □

◇ 平成29年度 九州・沖縄ブロック労働局 業務説明会（日程）

◇ 平成29年度 九州・沖縄ブロック労働局 官庁訪問（日程）

◇ 先輩に聞いてみました

九州・沖縄ブロックの労働局やハローワークで勤務している先輩たちに、いろいろと聞いてみました。



九州・沖縄ブロックの労働局では、国家公務員試験一般職試験（大卒程度）の一次試験合格者を対象として、下記の日程で「業務説明会」を開催いたします。ご参加を希望される方は、各労働局へ電話で予約をお願いします（受付時間：9時00分～17時00分）。なお、「業務説明会」は、採用面接・面談等ではなく、官庁訪問開始前に、一般職採用者の業務内容等についての情報を提供することを目的とするものであり、「業務説明会」に参加しなかったことで、採用選考において不利益な取扱いをするものではありません。

労働局名	業務説明会 実施日程
福岡労働局	○日程： 8/4(金) ○場所： 福岡合同庁舎新館3階 共用ABC会議室（福岡市博多区博多駅東2-11-1） ○時間： ①9時00分～10時30分 ②11時00分～12時30分 ③13時30分～15時00分 ④15時30分～17時00分 【申込・問合せ先】 福岡労働局総務課人事係 山本・小屋（092-411-4741）
佐賀労働局	○日程： 7/18(火)・7/21(金)・8/10(木) ○場所： 佐賀公共職業安定所(ハローワーク佐賀)（佐賀市白山2丁目1-15） ○時間： 7/18 13時30分～15時30分 7/21 9時30分～11時30分 8/10 9時30分～11時30分 【申込・問合せ先】 佐賀労働局総務課人事係 秋永・金子（0952-32-7155）
長崎労働局	○日程： 7/15(土)・7/18(火)・7/19(水) ○場所： 長崎労働局 8階会議室（長崎市万才町7-1 住友生命長崎ビル8階） ○時間： ①10時30分～12時00分 ②13時30分～15時00分 【申込・問合せ先】 長崎労働局総務部総務課人事係 山下・益富（095-801-0020）
熊本労働局	○日程： 7/28(金)・8/7(月) ○場所： 熊本地方合同庁舎A棟10階 大会議室（熊本市西区春日2-10-1） ○時間： 7/28 14時00分～16時00分 8/7 ①10時00分～12時00分 ②14時00分～16時00分 【申込・問合せ先】 熊本労働局総務部総務課人事係 大津・松本（096-211-1701）
大分労働局	○日程： 7/20(木)・7/25(火)・8/15(火) ○場所： iichiko総合文化センター 4F 小会議室1（大分市高砂町2-50 オアシスひろば21） ○時間： 14時00分～16時30分 【申込・問合せ先】 大分労働局総務課人事係 原田・木本（097-536-3211）
宮崎労働局	○日程： 7/18(火)・7/19(水)・7/20(木)・7/21(金) ○場所： 7/18・7/20・7/21 宮崎合同庁舎4階 会議室（宮崎市橘通東3-1-22） 7/19 宮崎合同庁舎2階 会議室（宮崎市橘通東3-1-22） ○時間： 13時30分～16時30分 【申込・問合せ先】 宮崎労働局総務課人事係 川口・中村（0985-38-8820）
鹿児島労働局	○日程： 7/19(水)・7/20(木)・7/21(金)・7/25(火) ○場所： 鹿児島合同庁舎1階 第1会議室（鹿児島市山下町13-21） ○時間： ①9時00分～10時30分 ②13時30分～15時00分 【申込・問合せ先】 鹿児島労働局総務課人事係 大村・杉焼（099-223-8275）
沖縄労働局	○日程： 7/25(火)・7/28(金) ○場所： 那覇第二地方合同庁舎1号館2階 会議室（那覇市おもろまち2-1-1） ○時間： ①10時00分～11時30分 ②15時00分～16時30分 【申込・問合せ先】 沖縄労働局総務課人事係 屋嘉比・松原（098-868-4003）

九州・沖縄ブロックの労働局では、国家公務員試験一般職試験（大卒程度）の最終合格者を対象として、下記の日程で「官庁訪問（個別質問会）」を開催いたします。ご参加を希望される方は、各労働局へ電話予約をお願いします。なお、官庁訪問の際には、「官庁訪問記録票」（HP参照）を記入の上、当日ご持参願います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。 **予約受付：平成29年8月8日（火）14：00以降～**

労働局名	官庁訪問 実施日程
福岡労働局	○日程: 8/24(木)・8/25(金) ○場所: 八重洲博多ビル 3階 会議室(福岡市博多区博多駅東2-18-30) ○時間: 9時00分～17時00分 【申込・問合せ先】 福岡労働局総務課人事係 山本・小屋 (092-411-4741)
佐賀労働局	○日程: 8/24(木)・8/25(金) ○場所: 佐賀労働局総務課 (佐賀第二合同庁舎) 佐賀市駅前中央3丁目3-20 ○時間: 8/24 10時00分～16時30分 8/25 9時00分～16時00分 【申込・問合せ先】 佐賀労働局総務課人事係 秋永・金子 (0952-32-7155)
長崎労働局	○日程: 8/24(木)・8/25(金)・8/26(土) ○場所: 長崎労働局 3階会議室(長崎市万才町7-1 住友生命長崎ビル3階) ○時間: 9時00分～17時00分 【申込・問合せ先】 長崎労働局総務部総務課人事係 山下・益富 (095-801-0020)
熊本労働局	○日程: 8/24(木)・8/25(金)・8/28(月) ○場所: 熊本地方合同庁舎A棟10階 大会議室(熊本市西区春日2-10-1) ○時間: 8/24・8/25 9時00分～17時00分 8/28 13時00分～17時00分 【申込・問合せ先】 熊本労働局総務部総務課人事係 大津・松本 (096-211-1701)
大分労働局	○日程: 8/24(木)・8/25(金) ○場所: 大分労働局総務部総務課(大分市東春日町17番20号 大分第2ソフィアプラザビル3F) ○時間: 9時00分～17時00分 【申込・問合せ先】 大分労働局総務課人事係 原田・木本 (097-536-3211)
宮崎労働局	○日程: 8/24(木)・8/25(金)・8/28(月) ○場所: 宮崎合同庁舎2階 会議室(宮崎市橋通東3-1-22) ○時間: 9時00分～17時15分 【申込・問合せ先】 宮崎労働局総務課人事係 川口・中村 (0985-38-8820)
鹿児島労働局	○日程: 8/24(木)・8/25(金)・8/28(月) ○場所: 鹿児島合同庁舎1階 第1会議室(鹿児島市山下町13-21) ○時間: 9時00分～17時00分 【申込・問合せ先】 鹿児島労働局総務課人事係 大村・杉焼 (099-223-8275)
沖縄労働局	○日程: 8/24(木)・8/25(金)・8/28(月) ○場所: 那覇第二地方合同庁舎1号館 2階会議室(那覇市おもろまち2-1-1) ○時間: 9時00分～17時00分 【申込・問合せ先】 沖縄労働局総務課人事係 屋嘉比・松原 (098-868-4003)

先輩に聞いてみました

- Q1. 自己紹介をお願いします
- Q2. 労働行政を志望した理由は？
- Q3. 現在の仕事内容を教えてください
- Q4. 職場の雰囲気教えてください
- Q5. 他の労働局での異動経験を聞かせてください
- Q6. 将来の後輩にひと言！



A1

福岡労働局 総務部総務課の浴口元希です。年齢は30歳で入省して7年目になります。出身は、福岡県福岡市です。

A2

家族の仕事の影響もあって、学生時代から障害のある方の就職支援に関心がありました。働きたいと思う方が当たり前になることができるような社会づくりに貢献するとともに、第一線の窓口業務において、障害のある方のニーズや必要とする支援等を把握し、希望する就職・職場定着へ向けての支援ができることに魅力を感じ、労働行政を志望しました。

A3

現在は、労働局の総務課で会計（契約関係）の業務をしています。ハローワークや労働基準監督署、労働局内の各課室から要望があった物品の調達や印刷物の作製等の入札業務や見積もり合わせなどを行っております。窓口業務ではありませんが、労働行政を陰ながら支える業務だと思い、やりがいを感じております。

A4

異動のたびに仕事内容は変わりましたが、職場の方々は皆さん良い方ばかりで、たくさん助けていただきましたし、支えてもらいました。今までどの職場に行っても、楽しかったなと思えたのは周りの方々のおかげだと思います。

A5

私は、採用後、鹿児島局で2年、大分局で4年勤務してきました。その局の雰囲気や仕事のやり方を学び比較できるのはもちろんですが、この異動がないと住むことのない地へ住めることや出会うことができない方々との出会いがとてもプラスになります。鹿児島も大分もこのままずっと住みたいと思えるような土地でしたし、そう思わせてくれる方々との出会いがありました。ちなみに妻とは鹿児島で出会い、家族を増やしつつ、福岡へ帰ってきました（笑）。

A6

労働行政の仕事は、国民の関心・期待が高いものですので、責任とやりがいを感じますし、自分自身も成長できます。労働行政に興味のある方、私たちと一緒に働いてみませんか？

浴口 元希
(平成23年4月1日採用)



A1

福岡労働局 ハローワーク福岡中央 求人部門の高原 里穂です。年齢は22歳で入省1年目です。出身は、雲仙普賢岳で有名な長崎県雲仙市です。

A2

私自身、大学時代に就職活動で大変な思いをしたので、これから就職を目指す学生や就職活動をしている方々に対して、自分に合った仕事を見つけることができるようにお手伝いをしたいと思い、労働行政を志望しました。

A3

現在、求人受付や事業所訪問による求人開拓等を行っている求人部門に所属しています。主な仕事内容は、求人票を労働関係法令に照らしてチェックをし、求職者が応募したくなるような求人内容になるようアドバイス等を行う業務です。

最近では、求人数の増加と求職者の減少（主に若年層）が進んでおり、求人者が人材を確保できないという相談が増えています。自分がアドバイスをさせていただいた求人に応募者が来たといったことを言ってもらえると嬉しい思いでいっぱいになります。

また、求人票にはたくさんの法令が詰まっていますので勉強の毎日ですが、まわりの職員の方々が丁寧に教えて下さるのでとても安心です。

A4

まだまだ分からないことも多く、周りの方々にいつも助けていただいています。職場自体に若手は少ないのですが、みなさん気さくで優しく、困ったことがあったら助言をしていただけるので本当にありがたいです。同僚も優しく面白い人がたくさんいるので笑いが絶えず本当に楽しいです。

A6

就職という人生を決めてしまうといっても過言ではない重要な選択をしていくなかで、迷われることも多いと思います。あの時こういう選択をしておけばよかったと後悔しないためにも官庁訪問を積極的に行い、各省庁の人事の方とお話することはとても大事だと思います。自分自身の選択に納得できるよう今を一生懸命頑張ってください。そのなかで、労働局を選んでいただけたらとても嬉しいです。



高原 里穂
(平成29年4月1日採用)



A1

佐賀労働局 ハローワーク佐賀 雇用保険適用課の田中 佑資です。年齢は21歳で入省2年目になります。出身は福岡県です。

A2

私の知り合いにハローワークに通いながら就職活動をしている方がいました。職業訓練校に通い苦労している姿をみていたので、就職が決まったときは私自身嬉しい気持ちになりました。そういったこともあり労働行政に魅力を感じ志望しました。

A3

現在は雇用保険の適用業務をしています。主に事業所の方が持ってくる雇用保険の資格取得届、喪失届の手続きを行っています。労働者が安心して働けるように事業所への雇用保険加入指導は大変ですがとてもやりがいがあります。

A4

仕事面では上司がわからないところを的確に指導してくれるので安心して業務に取り組みます。休暇等も取りやすい環境なので私生活も充実しています。

A6

労働行政は人と接することで自分を成長させることができる職場だと思うので、みなさんと一緒に働くことを楽しみにお待ちしております。



田中 佑資

(平成28年4月1日採用)



A1

佐賀労働局 ハローワーク佐賀 庶務課の式町 友香です。年齢は22歳で入省1年目になります。出身は佐賀県佐賀市です。

A2

働くということは、ひとが健康で豊かな生活を送り、幸福を追求する上で最も大切なことだと考えています。そして、それらを最前線で支えているのが労働局の業務です。私は特に雇用均等行政に興味があったので、そのような業務に携わり、国民の方々が安心して働くことのできる手助けを行いたいと考え、労働行政を志望しました。

A3

現在は、庶務課で経理業務を担当しています。皆さんのイメージするハローワークでの仕事とは異なるかと思いますが、職員が円滑に業務を遂行するためには必要不可欠な部署なので、日々やりがいを感じています。

A4

職場の雰囲気はとても良いです。初めての業務で分からないことだらけでしたが、上司、先輩の方々が優しく教えて下さるので質問もしやすく、不安な気持ちはすぐになりました。私は業務上多くの職員と関わる機会がありますが、皆さん気さくに話しかけてくださるのでとても嬉しいです。

A6

「働き方改革」「マタハラ」「長時間労働」「女性の活躍」など、最近のニュースでよく耳にする言葉かと思います。それほど現代社会では労働に関する問題が数多くあり、その数だけ困っている方々があります。そのような方々の役に立ちたいという気持ちが少しでもある方、ぜひ私たちと一緒に働きましょう。



式町 友香

(平成29年4月1日採用)



A1

長崎労働局 ハローワーク長崎 職業相談第二部門で公共職業訓練を主に担当している満田です。30歳で入省4年目になります。出身地は、九大移転により現在都市化が進んでいる福岡市西区です。

A2

労働局は行政の中でも直に国民の方々と触れ合う機会が多いということ、官庁訪問の際から感じており、その点が自分の中で魅力的でした。民間企業での営業経験を得た後の転職だったので、接客のできる職を重視していました。また、仕事を行いつつ、趣味の野球もできたらいいなと思いながら官庁訪問をしていたある日、当時の採用局の人事の方と出会い、野球の話の皮切りに良い意味で目をつけられたのも大きなきっかけでした。

A3

現在は公共職業訓練の応募手続きを主として、窓口で職業相談を行っています。求職者の希望に沿った再就職への近道として、公共職業訓練受講の斡旋を行っています。

A4

入省4年目になりますが、まだまだ毎日が勉強です。分からないことがあっても周りの上司の方々が的確にアドバイスをくださるので、不安なことは相談でき、何の心配もありません。また、職場内の野球部の方々からも程よく声をかけていただいている為、身体面のリフレッシュも期待できる良い職場ですよ。

A5

私は佐賀、長崎の2局の経験しかありませんが、それぞれに土地柄、風土によって窓口の雰囲気も違います。異動をすることで職員の顔ぶれも変わり、県を超えた人間関係が築ける点もメリットです。

A6

労働局は「働く」という国民の義務に関わる分野を最前線で担っている行政です。日々変わりゆく法律を学ぶことは仕事外でも役立てられると思っています。家庭と仕事の両立ができるワークライフバランスが整っている当行政で、皆さんと一緒に仕事が出来れば幸いです。



満田 正志
(平成26年4月1日採用)

A1

長崎労働局 ハローワーク佐世保 雇用保険給付課の緒方恭子です。年齢は27歳で入省4年目になります。出身は、吉野ヶ里遺跡で有名な佐賀県神埼市です。

A2

官庁合同説明会を聞きに行った際、「女性にとって働きやすい職場」という話を聞き、興味を持ったことがきっかけです。実際、働いている女性職員の中には育児と仕事の両立をしている人が多くいます。

A3

採用1～2年目までは、総務課の会計係に所属しており、各安定所での電気代・ガス代・水道代といった諸経費の支払いや旅費の支給等を行っていました。

現在は、雇用保険給付課に所属しており、失業された方が次のお仕事を見つけるまでの間、雇用保険の支払いをする業務を担当しています。現在は窓口業務が主な仕事なので、毎日多くの方と接する機会があります。相手が聞きたいことが上手くくみ取れず、説明の仕方等で難しいと思うこともありますが「分かり易かったよ、ありがとう」と言われた時にはとてもやりがいを感じます。

A4

職員のみなさんは、優しい方々ばかりで、業務で分からないことや行き詰ったことがあれば質問すると丁寧に答えてもらえます。また、私は体を動かすことが好きなのですが、同じようにスポーツが趣味の方々と一緒にマラソン大会に参加したり、フットサルをしたりしてリフレッシュしています。

A5

同じ法律のもとで仕事をしていても、地域によって労働情勢も違うため、その地域に合わせた工夫や対策が取られており、最終的に定着した際に局間異動で学んだことを活かすことができそうです。

A6

人と関わることが好きな人、労働行政に興味のある人は、一緒に仕事が出来ると嬉しいです。せっかくの機会なので、色々な官庁を訪問して、各官庁の雰囲気を感じてみてください。ちなみに、私も多くの官庁を訪問し、労働局のアットホームな雰囲気に惹かれたのが入省の決め手でした。



緒方 恭子
(平成26年4月1日採用)



A1

熊本労働局総務部総務課会計第二係 福岡壮人です。年齢は30歳で入省6年目になります。出身は、豊富な海の幸で有名な熊本県天草市です。

A2

私は人と接することが好きで、多くの人役に立ちたいと思い公務員試験を受験しました。そして官庁訪問の際、最も直接的に困っている方を手助けすることができる職場ではないかと思い、労働行政に魅力を感じ希望しました。

A3

現在は労働局の総務課の会計係として、契約、施設整備等を行い、労働基準監督署やハローワークの職員のサポートとなる業務を行っています。それまでは、ハローワークの雇用保険部門で2年間、職業紹介部門で2年間勤務を行いました。それぞれ異なった事情のある来所者に対して、全員が満足して頂くのは難しかったですが、「就職が決まった！」等の感謝の意を伝えられると非常にやりがいを感じ、労働行政を選んでよかったなと思います。

A4

上司、先輩の方々は優しく親切な方や、気さくで話しやすい方が多いです。また、現在の職場ではフットサルやミニバレーのチームがあり、レクリエーション活動を盛んに行っています。

A5

見ず知らずの地で勤務するということは不安でしたが、職場の上司や先輩が支えてくれ、安心して勤務することができました。また、県外に新しい友人ができ、幅広い人間関係を構築することができました。

A6

労働行政は景気や生活に直結するので、大変なことも多いですが、やりがいのある仕事であることは間違いありません。少しでも興味を持たれた方は是非一緒に働いてみませんか？！



福岡 壮人
(平成24年4月1日採用)



A1

熊本労働局 ハローワーク球磨 職業紹介部門の井手尾 美里です。19歳で入省し、今年で入省8年目になります。出身は、熊本城がシンボルの熊本県熊本市です。

A2

面接連絡を頂いたとき、正直、労働局のことをよく知りませんでした。そんな私のために、担当の方が面接前に時間と場所を確保し、とても丁寧に仕事のことを説明して下さいました。その方の、優しく分かりやすい「話し方」と、面接官の方の穏やかな「聴き方」をととても気持ちよく感じ、私もこの職場で働いて、そのようになりたいと思いました。

A3

労働局での仕事は多種多様です。私はこれまで、失業中の方に給付金の支給を行う雇用保険給付業務、お仕事探しをしている方の相談を行う職業紹介業務、事業主の雇用保険加入手続き等を行う雇用保険適用業務、と様々な業務を経験しました。現在は、再び職業紹介業務に就いています。仕事の種類が多いのは一見大変そうに見えますが、新しい業務に就くたびに自分の知識と経験が広がり、仕事に「選択肢」と「可能性」が増えるので楽しいですよ。

A4

私の今の職場は週に1回スポーツ交流をしており、バレーやバドミントン等をみんなで楽しんでいます。夏はキャンプ、秋は登山、旅行積み立てをして職員旅行にも行きます。和気あいあいとしていて、職場環境にとっても恵まれています。

A5

引っ越しはやはり大変ですが、その分、自分の見聞を広げるチャンスと、様々な地域の方と交流するチャンスに恵まれます。何か困ったことが起きたり、何かを改善しようとしたとき、他県での経験や人脈が解決の手助けになったことは少なくありません。

A6

「仕事にやりがいを感じ、様々なことにチャレンジしたい。」「仕事をして、誰かの役に立ちたい。」とされている方、ぜひ労働局を選択してください。労働局でのあなたの仕事は、目の前の困っている人を助ける仕事です。一緒に、やりがいのある仕事をしませんか？



井手尾 美里
(平成22年4月1日採用)



A1

大分労働局 ハローワーク別府 雇用保険課の石井聡です。年齢は23歳で入省2年目になります。出身は、とり天で有名な大分県大分市です。

A2

自分自身が就職活動をしていく中で様々な不安があり、困っている人に対して雇用の面から支えていく仕事がしたいと思い、労働行政を志望しました。また、官庁訪問の際に職員の方が気さくに声を掛けてくれて、非常に雰囲気が良いと感じたのも理由のひとつです。

A3

雇用保険の失業給付業務を担当しています。主な内容は、失業の認定、各種手当の支給業務です。人々の生活に直結する重要な仕事で責任は重いですが、その分やりがいもあります。それぞれ事情は様々ですが、相手の話をよく聞いて状況を把握し、その人にとって最善の選択ができたと思えた時はやりがいを感じます。法律等、勉強することも多いですが、日々成長を感じられる職場です。

A4

私の上司や先輩は優しい方が多く相談しやすい雰囲気があり、相談した際には丁寧に教えてくれます。

また、若手職員で登山に行ったり、各安定所の有志職員が参加する飲み会や駅伝大会等もあり、職場以外の場も充実しています。

A6

労働行政は、労働という人々の生活に密接に関わる仕事であるため、非常にやりがいを感じられる魅力的な職場です。また、皆優しくて雰囲気も良く、働きやすい環境です。様々な選択肢で悩むと思いますが、少しでも労働行政に興味がある方、是非一緒に働きましょう！



石井 聡

(平成28年4月1日採用)



A1

大分労働局 労働保険徴収室の萱野早紀です。年齢は24歳で入省3年目になります。出身は馬刺し、辛子蓮根で有名な熊本県です。

A2

学生時代の先輩が労働行政に携わっていたことで興味を持ったのが最初のきっかけです。そして、人と接する仕事がやりたい！やるならば、その分野に深い人になりたい！という漠然な思いがこの労働行政と一致したことで労働局を志望しました。

A3

以前は雇用保険の支給を行う仕事をしていました。実際に窓口で求職者の方のお話を聴き、利用できる制度からその方に合った方法を考え再就職に繋げていきます。

現在は労働保険の適用徴収業務を担当しています。保険の支給とは違い、保険料を集める業務ということで支給とはまた違った難しさがありますが、労働行政を支える重要な仕事としてやりがいを感じています。

A4

入省前の官庁訪問から思っていたことですが、とにかく温かいです！異動があるため常に同じメンバーではありませんが、どこの部署に行っても困ったときにすぐに助けてくれる上司同僚に恵まれ、非常に仕事をしやすい環境だと思いました。

A5

採用後、熊本県で2年間勤務し現在は大分県で働いています。局間異動は各局のやり方や違いに触れることができ自分の視野を広げられる利点があると思います。

A6

様々な人達の生活に触れ、「働く」という場面から人々のサポートをしていくとてもやりがいを感じられる仕事です。また、少しでも興味を持たれた方はぜひ一緒に労働行政で働きましょう！みなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。



萱野 早紀

(平成27年4月1日採用)



A1

宮崎労働局 ハローワーク宮崎 雇用保険給付課の木田壮胡（きだそうご）です。年齢は20歳で、入省2年目になります。出身は宮崎県日向市です。

A2

高校時代に知人が県内就職を希望していましたが、求人募集が少なく県内の就職を諦め県外就職をすることになりました。私は、人々の就職をサポートしたいという意識が芽生え、人の仕事・働く」を支える仕事を取り扱っている労働行政で働きたいと志望しました。

A3

現在は、失業等給付の支給事務を中心に行っています。求職者の方々の生活に直結する相談を受けることもあるため、かなり責任を感じることもありますが、制度について説明を行った際に「わかりやすかった。ありがとう。」といった声や「わからなくて困っていたので助かった。」といった声を聴くたびに安心しますし、やりがいを感じます。

A4

人と接する機会が多い職場ですので、上司、先輩の方々は優しく親切に接していただけます。また、私事で気になっていることにも気をかけてくださる方もいます。福利厚生も充実しており安心して働くことができます。

A6

労働行政はこれからの社会にも深く関係してくる職場です。そして、国民により身近な分野を最前線で担う組織です。大変やりがいを感じる職場だと実感しています。多くの行政組織のなかでも、労働行政を選択していただき、一緒に仕事ができれば幸いです。



木田 壮胡
(平成28年4月1日採用)



A1

宮崎労働局 ハローワーク延岡 職業相談部門の上田 茜です。年齢は26歳で入省5年目になります。出身は、馬刺しやいきなりだんごで有名な熊本県熊本市です。

A2

一次試験に合格後、実際にハローワークを見に行ったことがきっかけでした。それまでは「職探しの所」というくらいでどういう所かイメージが付きませんでした。実際に見てみて、想像していたよりも明るく活気のある場所という印象を持ちました。

A3

入省後3年は雇用保険給付係として、労働者が退職した後や再就職した場合の手当の支給などを行いました。4年目に職業相談部門の障害者担当になり、障害にかかわらず安心して働きたい人々と、会社をどのように結び付けていくかということに難しさややりがいを感じました。現在は職業相談部門の学卒担当として、学生や卒業後就職が決まっていない若者に対する支援を行っています。

A4

困ったときには気軽に相談でき、助けられながら仕事ができています。業務時間外もバーベキューやたけのこ掘りなどのレジャーを行うこともあり、アットホームな雰囲気です。

A5

これまで熊本・大分・宮崎と3局間を異動しました。大分に出た時は初めての一人暮らしでしたが、職場の方に野菜をいただくなど親切にいただきました。局間異動により同年代の知り合いも増え、異動先と一緒に観光するなど楽しく過ごすことができました。

A6

「人の役に立つ」ということは全ての行政に通じることだと思いますが、労働行政はその中でも特に、全ての人に関係する「働く」ことへの支援を行います。私自身も就活で思うようにいかないこともあり、自分が労働者の支援をできるのかと思ったこともありますが、窓口で様々な方とお話しするところらが学ばされることも多くあります。これから長く続く職業生活の中で、「働く」ことを考えながら自分を成長させることのできる、おすすめの職業です！ぜひ私たちと一緒に働きましょう！



上田 茜

(平成25年4月1日採用)



A1

鹿児島労働局総務部総務課人事係の松山力也です。年齢は30歳で入省7年目になります。出身は鹿児島県鹿児島市ですが、未だに火山灰には慣れません。

A2

業務説明会や官庁訪問をしてみて、自分が働いている姿を一番想像し易く、しっくりくると感じたのを覚えています。フィーリングですね。

A3

過去には、外国人や生活保護受給者の職業紹介、育児休業法関連の業務等を経験しました。現在は、非常勤職員の給与や雇用保険、社会保険の手続き等を担当しています。今の仕事は窓口の仕事とは違い、自分なりに計画を立てて仕事を進めています。

A4

年齢の近い同僚も多いので、昼休みには外に出かけ、ご飯を食べながら雑談をしたり、和気あいあいとした感じです。所属している野球部では、優しい先輩方に可愛がってもらっています。

A5

宮崎労働局と大分労働局で合計4年半の間お世話になりましたが、その時の縁で今でも情報交換ができることは大きな財産だと感じています。また、熊本の震災があった時、私は鹿児島公共職業安定所で勤務していましたが、私の職場からも業務の応援に向かいました。これはひとつには、人事交流等があり、普段から良好な関係を築けているからこそその迅速な対応だったと感じます。

A6

労働局について私が思うことは、ワークライフバランスがとり易く、将来設計もし易い職場だということです。決して嘘ではなく、誰かに言われているわけでもないですよ（笑）。労働局を皆さんの選択肢に入れていただいて、まずは業務説明会等に参加いただければと思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



松山 力也
(平成22年10月1日採用)



A1

鹿児島労働局ハローワーク国分 求人部門の岩切里茄です。年齢は22歳で入省4年目になります。出身は、チキン南蛮発祥の地である宮崎県延岡市です。

A2

労働行政は、失業し不安を抱えながら仕事を探している方に対して、十分な職業相談を行い、納得できる再就職につながるよう、全面的な支援をしています。このように雇用に関して様々な支援を行っている労働行政は、困っている方の支えとなり、社会貢献したいと考えていた私にとって天職であると感じ、志望しました。

A3

宮崎労働局のハローワーク延岡で2年、鹿児島労働局のハローワーク国分で1年、適用業務を務めました。適用係では事業所で人を新たに雇用した際、従業員が退職した際の、雇用保険の届出書類受理業務を担当していました。今年の4月からは、求人部門で主に求人票受理などを行っています。求人者から応募が来ない旨の相談があった場合は、求職者にとって魅力的で問い合わせがあるような求人票になるようアドバイスをしています。

A4

それぞれが自分のスキルアップを図りながら、全体の質の向上を意識し、切磋琢磨して職務を遂行しています。また、職場の上司や諸先輩方は優しく、明るく、気さくな方ばかりでとても働きやすい環境です。プライベートでも飲みや食事などお声をかけていただき、和気藹々と交流を深めながら、充実した毎日を送っています。

A5

いろいろな地域で仕事をさせていただく中で、その地域の雇用情勢を肌で感じることができますし、同じ業務内容でもまた違った発見があり、勉強になります。

A6

ハローワークには、様々な個性、考え方をを持った方が来所されます。ハローワークで相談してよかったと思って頂けるよう、懇切丁寧、真摯に1人1人と向き合い信頼関係を築けるように心がけています。労働行政は人の人生に直接関わる分、責任も大きいですが、その分やり遂げた時の達成感も大きいです。今ではこの仕事に出会えて本当によかったと心から思います。今は将来の進路に悩む時期ではあると思いますが、労働行政はとてもやりがいのある職場ですよ。ぜひ、私たちと一緒に働いてみませんか。



岩切 里茄
(平成26年4月1日採用)

A1

沖縄労働局職業安定課の石垣卓也です。平成22年10月に入省して、今年で7年目になります。

A2

説明会や官庁訪問に行った際に担当して下さった方々の対応が親切で、とても良い雰囲気を感じました。他行政も検討していたのですが、最終的には「この先輩方と一緒に働きたい」と思い志望しました。

A3

採用されてすぐはハローワーク沖縄の雇用保険適用課に配属されました。はじめはわからないことだらけでしたが、まわりの先輩方が丁寧に教えてくれました。

局間異動のため2年間東京局で勤務した後、現在は沖縄労働局職業安定課にて職業紹介関係や予算関係などの業務を行っています。

A4

仕事でわからないことやトラブルがあってもすぐ上司に相談できる風通しの良い職場です。また、休暇や突発的な休みも取りやすく働きやすい環境だと思います。

最近、若手の職員も多くなり、飲み会やスポーツをしたりと楽しく過ごしています。

A5

29年間過ごしてきた沖縄を離れることは不安がありましたが、東京局への異動は沖縄ではできない貴重な体験ができ、自分自身の成長を感じた2年間でした。

初めは不安な気持ちでも終わってみると「異動してよかった」という気持ちになりますので、得られるものの多い素晴らしい機会だと思います。

A6

労働局の先輩方は優しい方が多いので楽しく働くことができます。一生懸命働きたい、そして楽しく働きたいと希望しているみなさんをお待ちしています。



石垣 卓也
(平成22年10月1日採用)



A1

沖縄労働局 ハローワーク名護 職業紹介第二部門の友利奏恵です。年齢は28歳で入省7年目になります。出身は沖縄県本島の一番南にある糸満市です。

A2

大学生の時に社会保障法のゼミに入っており、社会保障制度について学んでいました。その中で「働くこと」は私たちの生活のなかで切り離せないものだと感じ、「働くこと」をサポートする労働行政に魅力を感じ志望しました。

A3

これまでハローワークで雇用保険の失業給付や適用関係の仕事に携わり、現在は、主に障害者雇用関係の業務を行っています。どの業務も利用者の生活と直接関わることなので正確な知識を身に付ける必要がありますが大変さもありますが、利用者の方から感謝の言葉をいただいたときはこの仕事をやっていてよかったなと思います。

A4

今まで配属されたどの部署でも、先輩や同僚と業務の話から他愛のない話まですることができ、話しやすくとても雰囲気の良い職場でした。わからないことや困ったことがあると必ず上司が相談にのってくれるところもとても心強いです。また、仕事のあと週1回バドミントンを行っており、部署を超えて様々な方と仲良くなれるのが嬉しいです。

A5

採用5年目に東京局へ異動となりました。沖縄局とは異なった雇用情勢を知ることができ、また東京局の取り組みを学ぶことができたのでとてもいい経験になりました。配属された部署の方々にも本当によくしていただき、2年間楽しく過ごすことができました。他局に異動するのは不安が大きいと思いますが、それぞれの局の特色のある素晴らしい取り組みを学ぶことができ、そして広く人脈を作ることができる、いいきっかけになると思います。

A6

求職者や事業主の方々のニーズを伺いながらその支援策を考え、実践することができる点が労働局の魅力だと思います。利用者から「ありがとう」と言われた時の感動はこの仕事を行う原動力になります。皆様もぜひ一緒に労働行政で働いてこの感動を味わってみませんか。



友利 奏恵
(平成23年1月1日採用)